

仕事以外でも仲間と楽しもう!

趣味の会紹介

五月会テニス部

厚井 久弥 (67期) Hisaya Kouji



◆午後7時前の銀杏並木

日々のハードな仕事を終えた平日の午後7時前、外苑前の銀杏並木をラケットバッグを片手に歩く。会員制の室内テニスコートで、先輩・後輩、弁護士・事務局、皆、仕事の立場をひと時離れて、汗をかく。練習マッチでは、勝利の歓喜と敗北の悔しさに本気で一喜一憂する。何とも洒落た日常だと思いませんか?それが、五月会テニス部です。

◆テニス部の活動

五月会テニス部は、二弁の会派の一つである五月会のサークルの一つです。

五月会の山田秀雄先生 (36期) が、明治神宮外苑テニスクラブの会員であるご縁で、テニスコートをお借りしています。同じく五月会の笠井直人先生 (42期) が火付け役となって、五月会テニス部の名のもとに、コロナの感染拡大前は、1か月半に1度のペースで練習マッチを開催していました。練習マッチ



総会テニス2019年

は、平日の午後7時から午後9時までの2時間です。まずは、ラリーやサーブなどを30分ほど練習した後、混合ダブルスの試合 (たいていは、4ゲーム先取) を繰り返します。練習では、元日本プロテニス協会認定のプロフェッショナルの資格を持つ弁護士が指導に当たることもあります。部員のレベルは区々で、テニスコートに快音を響かせる強者から、テニスは初めてですという初心者まで集まり、皆、自分のペースで、自分のレベルで参加することができます。コートは3面使用し、試合になると、そのあちらこちらから、大きな歓声があがります。

そのほかに年1回、毎年5月の五月会総会にあわせて、総会テニスマッチが開催されます。優勝者には、総会後に表彰を受けられるという栄誉が与えられます。

五月会総会にあわせて、テニスマッチのほかに、ゴルフマッチも行われるのですが、数年をかけて、テニスとゴルフのダブル優勝を目指すという猛者もいます。

◆門戸が広いテニス部

五月会テニス部の特色の一つに、門戸が広いという点があります。部員は、五月会会員に限定しておらず、他会派の先生

に参加いただけることもあります。また、弁護士以外にも、弁護士事務所の事務職員、司法修習生、二弁事務局職員、五月会会員の友人なども参加します。年齢も、レベルもバラバラです (かくいう筆者も、所属事務所の事務職員として勤務していた頃にボスに誘われて参加したのが、テニス部への初参加です)。

◆歴史は夜うごく!?

練習マッチの後は、有志が、といっても、毎回参加者のほぼ全員が、円卓を囲んでビールと中華を楽しみます。その日のテニスの振り返りはもちろんですが、仕事の悩みを打ち明けて相談に乗ってもらったり、ときにはプライベートな話題で盛り上がったりします。ここで培われる人間関係が部員の大きな財産となり、打ち上げの場を通じて、司法修習生の就職が決まったこともありました。

◆部員募集

五月会テニス部では、随時、広く部員を募集しています。愛あふれる五月会テニス部に参加してみませんか? なぜなら、“Tennis begins with love.”なのですから。

◆ご連絡先

『五月会テニス部』幹事
厚井久弥 (コウイヒサヤ) (67期)
山田・尾崎法律事務所
電話: 03-3585-7451